

# 最上小国川清流未来ニュース

令和7年3月19日 発行  
最上小国川清流未来振興機構

第34号

## 第9回最上小国川写真コンテスト入賞作品決定！

最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さの再認識、未来に伝える機運の醸成のため、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに、写真コンテストを開催しています。

第9回となる今年度は、県内外の28名の方より計75点の応募があり、審査の結果、12点の入賞作品が選ばれました。その中から最優秀賞、優秀賞の4点をご紹介します。

また、この作品を活用し、地域内外の多くの皆様に最上小国川の魅力をお伝えするために、入賞作品を掲載した「最上小国川カレンダー2025」を作成し、先着200名の方へ配布しております。ご希望の方は事務局へお問合せ下さい。

### ▼最優秀賞（1点）



作品名 初めてのヤナ漁  
撮影場所 最上町瀬見  
受賞者 加藤修一さん（舟形町）

#### 【審査委員講評】

大きなアユを逃がすまいと両手で掴むその表情には「ヤッタ！」という満足感があふれている。

背景をぼかし、少年の表情を強調したことで、ヤナ場での初めての漁がストレートに表現された作品として優れている。

### ▼優秀賞（3点）



作品名 君たちにも旅立ちが訪れます  
撮影場所 最上町  
受賞者 伊藤重成さん（舟形町）



作品名 釣人と新幹線  
撮影場所 舟形町  
受賞者 高橋秀一さん  
（新庄市）



作品名 月夜の風景  
撮影場所 舟形町  
受賞者 佐竹吉廣さん  
（寒河江市）

## 町制施行 70 周年 第 41 回若鮎まつり

令和 6 年 9 月 7 日（土）及び 8 日（日）、「町制施行 70 周年 第 41 回ふながた若鮎まつり」がアユパーク舟形で開催されました。7 月 25 日からの大雨等の影響で、会場全体に土砂が流入したほか、崩落箇所もあり一時開催が危ぶまれましたが、多くの皆様のご協力により会場の泥上げや洗浄作業等が進められ、開催することができました。

当日は 2 日間で約 23,000 人が来場し、ゲスト（7 日：工藤綾乃さん、8 日：山本譲二さん）による歌謡ショーや舟形町芸術文化協会の発表などを楽しみながら、約 20,000 尾の鮎の塩焼きや鮎ご飯をはじめとする舟形の秋の味覚を存分に堪能していたようでした。

また、例年大人気のもがみ南部商工会青年部による「子ども鮎つかみどり体験」が開催され、多くの子どもたちが歓声を上げて鮎を追いかけていました。

令和 7 年度は 9 月 13 日（土）、14 日（日）に開催予定です。

〔 ふながた若鮎まつり実行委員会：0233-32-0844  
（事務局：舟形町まちづくり課ふるさと応援推進室） 〕



## 道の駅もがみ 1 周年感謝祭

道の駅もがみは、令和 6 年 11 月 26 日に開業 1 周年を迎えました。

開業 1 周年に先立って 11 月 9 日（土）、10 日（日）に 1 周年感謝祭を開催しました。

感謝祭では最上牛の串焼き、玉こん、サツマイモやなめこを使った季節の汁物を販売し、くじ引き抽選会では町内の旅館で使える宿泊券、野菜詰め合わせなどの景品が提供されました。

紅葉時期と重なり、会場には多くの観光客が訪れ、活気にあふれる感謝祭となりました。

また、最上町観光協会が企画した最上町方言せんべいのお披露目も行われ、多くの方が買い求めていました。

1 周年感謝祭を企画した道の駅もがみエリア運営協議会では、季節ごとにイベントを開催しております。皆様のご来場をお待ちしております。〔 最上町商工観光課：0233-43-2262 〕



### 【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構事務局（最上総合支庁総務課連携支援室内）：0233-29-1239

※ 機構の Instagram・ホームページで、構成団体の取組みや流域のイベント等を紹介いたしますので、ぜひご覧ください。



【Instagram】ぜひ「いいね！」をお願いします！

[https://www.instagram.com/seiryu\\_mogamiogunigawa/](https://www.instagram.com/seiryu_mogamiogunigawa/)

【ホームページ】

<http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>

